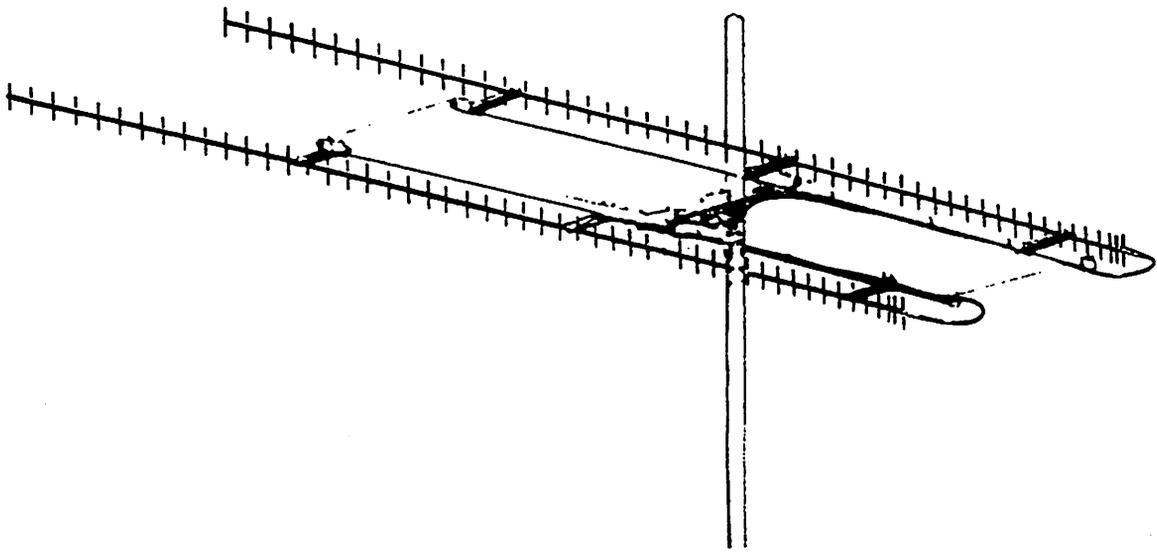


# 取扱説明書 (CYA-1251W)



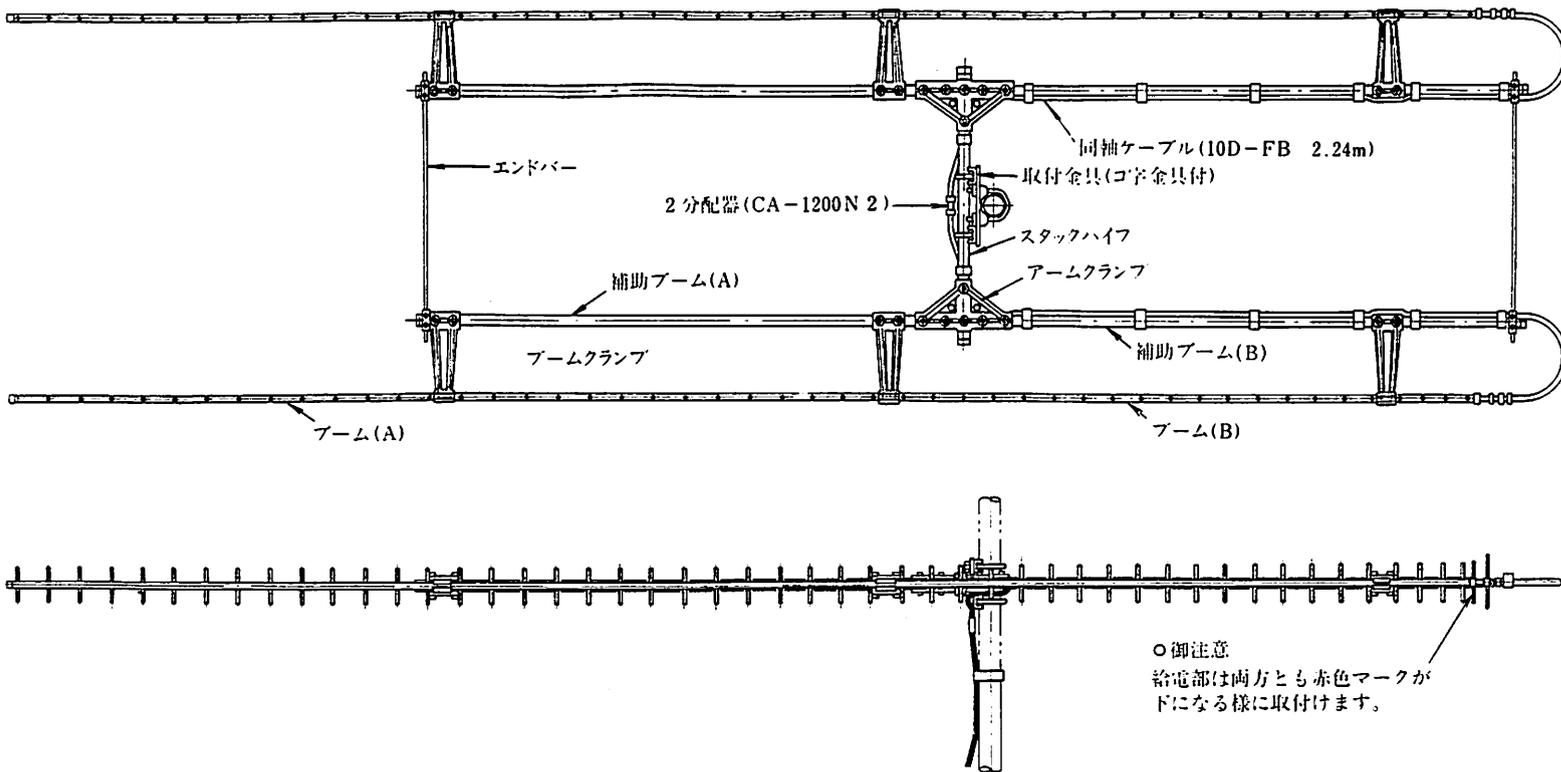
このたびは、1200MHz帯高性能固定局スタックアンテナ (CYA-1251W) を御買い上げいただき誠に有難うございます。

本品は厳重なる品質管理により生産されておりますが、万一運送中の事故により破損がありましたら取扱店にお申しつけ下さい。

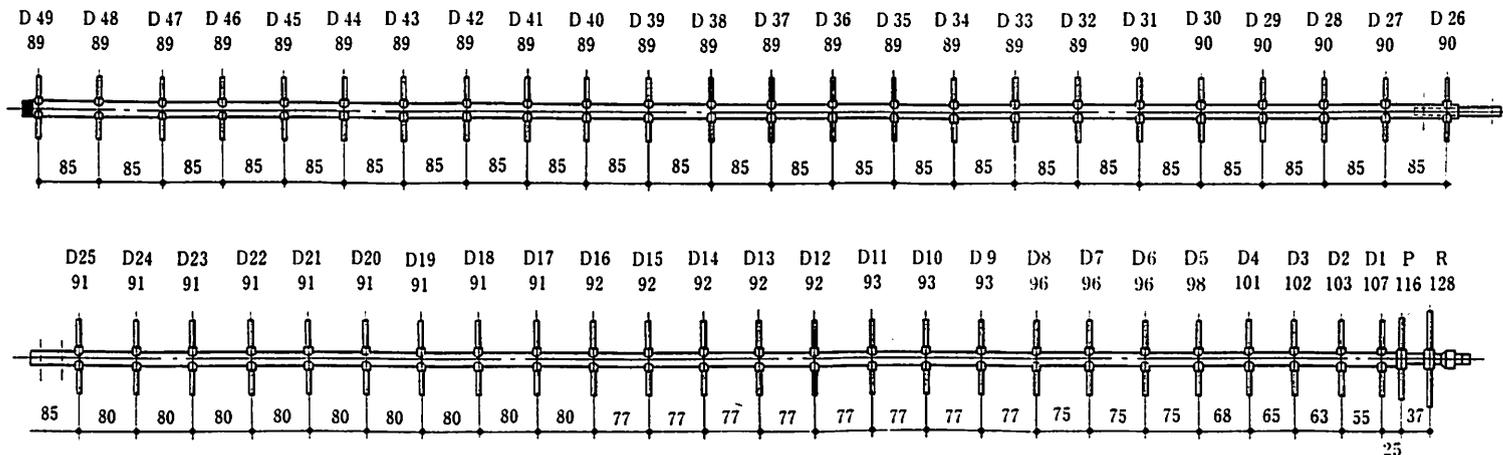
## 特 長

- \* 1 \* 補助ブームの採用で、長いブームにもかかわらず、ブームのタレ、タワミを非常に小さくさせ、安定度が抜群となった。
- \* 2 \* また、この補助ブームの採用により給電部からのケーブルをアンテナから遠ざけて補助ブームに沿わせたため、電氣的障害が少ない。
- \* 3 \* 平衡—不平衡変換には、従来より定評のあるシェベルトップ方式を採用し、放射器からの電波のもれを無くし、また放射器の効率を上げるため、給電箱を小さくし、放射器を長く (0.5λ) しました。
- \* 4 \* アームクランプ (2セット)、ブームクランプ (6セット) の金具は特殊アルミ合金鋳物 (ヒドロナリウム) を使用し、高強度で軽量化することとしました。またヒドロナリウムは耐蝕性が特に優れ、じん性 (ねばり) が良い。
- \* 5 \* 給電部から分配器へのケーブルに10D-FBを標準装備したためケーブルロスが非常に少ない。

# 組立図及びパーツリスト

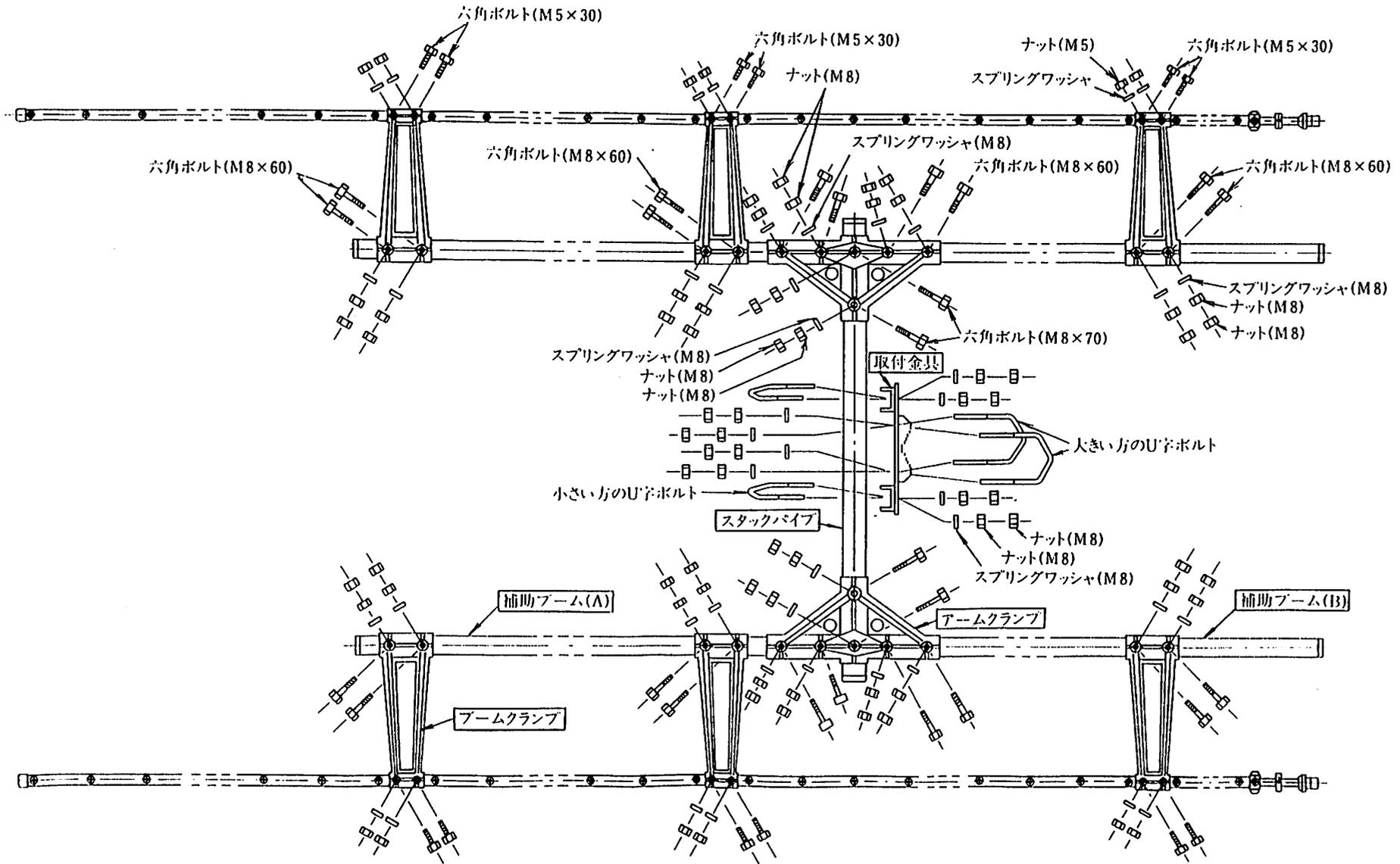


## ★エレメントの長さ及び間隔★ (単位: mm)



番号	品名	数量
1-1	ブーム(A) (接続パイプ付き)	2
1-2	ブーム(B) (給電部付き)	2
1-3	六角ボルト (M 4 × 20)	4
1-4	スプリングワッシャ (M 4)	4
1-5	ナット (M 4)	4
2-1	補助ブーム(A) (32φ×1450)	2
2-2	補助ブーム(B) (32φ×1410)	2
3	スタックパイプ (38φ×730)	1
4	エンドバー (9.5φ×730)	2
5-1	ブームクランプ(アルミ合金鋳物)	12枚
5-2	六角ボルト (M 8 × 60)	12
5-3	スプリングワッシャ (M 8)	12
5-4	ナット (M 8)	24
5-5	六角ボルト (M 5 × 30)	12
5-6	スプリングワッシャ (M 5)	12
5-7	ナット (M 5)	12
6-1	アームクランプ (アルミ合金鋳物)	4枚
6-2	六角ボルト (M 8 × 70)	4
6-3	六角ボルト (M 8 × 60)	8
6-4	スプリングワッシャ (M 8)	12
6-5	ナット (M 8)	24
7-1	取付金具 (コ字金具付)	1
7-2	角U字ボルト (M 8 × 60 × 70 × 30)	2
7-3	角U字ボルト (M 8 × 70 × 85 × 35)	2
7-4	スプリングワッシャ (M 8)	8
7-5	ナット (M 8)	16
8-1	エンドバークランプ	4
8-2	エンドバークランプフタ	4
8-3	ナベビス (SW付き) (M 5 × 16)	8
8-4	ホーローセット (M 5 × 8)	4
9-1	同軸ケーブル (10D-FB)	2
9-2	2分配器 (CA-1200N 2)	1
添付品	ビニールテープ	1
添付品	自己融着テープ	1
添付品	六角レンチ (対辺 2.5mm)	1
添付品	バインダー	20

# スタック取付金具の組み立て図

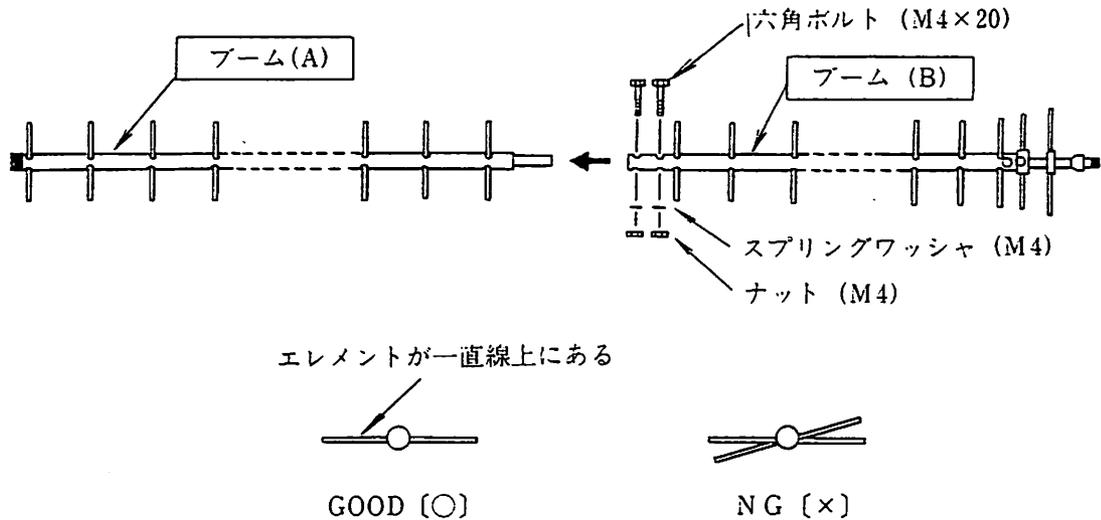


## 組立方法

### ★1★ ブームの接なぎ方

エレメント付きブーム(A)、ブーム(B)を接なぎ合わせて、六角ボルト(M4×20)、スプリングワッシャ、ナットで固定します。

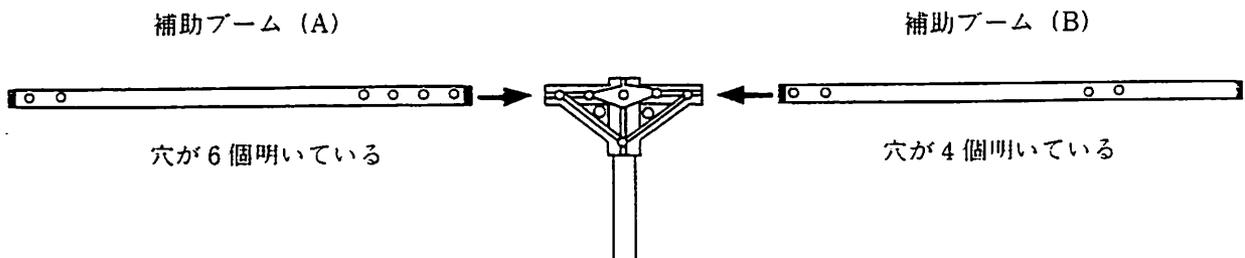
このとき、エレメントがブームの先端から見て同一線上にある様にブームの接なぎで調整しながら行います。



### ★2★ スタック取付金具の組み立て

- (1) ポールが鉄塔あるいは屋根馬に付いている場合は、適当な(48φ~62φ)ポールを用意して、地面に打ち込むか、あるいは、なんらかの方法でポールを立ててアンテナ全体に手が届くようにしてアンテナを組みます。
- (2) 図を参考にしながらポールにスタックパイプ(38φ×730)を取付金具で取り付けます。このときU字ボルトの大きい方がポール側で、小さい方がスタックパイプ側です。
- (3) アームクランプ(アルミ合金鋳物……2枚で1組)をスタックパイプの両端に六角ボルト(M8×70)各2本とスプリングワッシャ、ナットで手で締まる程度に固定します。このとき、アンテナの機械的調整(曲がり、タレ、平行度等)が終わるまでダブルナットはしない。
- (4) アームクランプの中へ補助ブーム(A)、(B)を各々差し込み六角ボルト(M8×60)、スプリングワッシャ、ナットで固定します。

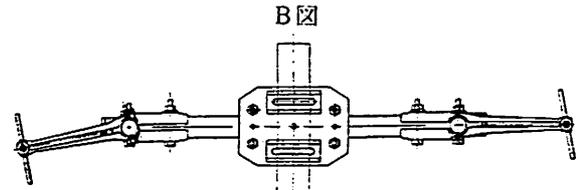
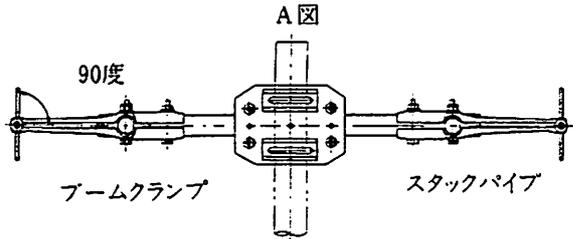
補助ブーム(A)、(B)の見分け方



- (5) 補助ブームにブームクランプ(アルミ合金鋳物……2枚で1組)を図の様に取付け六角ボルト(M8×60)、スプリングワッシャ、ナットで手で締まる程度に固定します。
- (6) ★1★で組み上げたブームを給電部の赤色マークが下になる様にブームクランプに差し込み六角ボルト(M5×30)、スプリングワッシャ、ナットで固定します。

★3★アンテナ取付の機械的調整（曲がり、直角度、平行度、タレ）

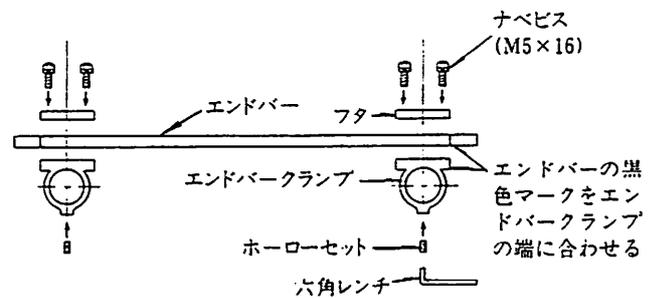
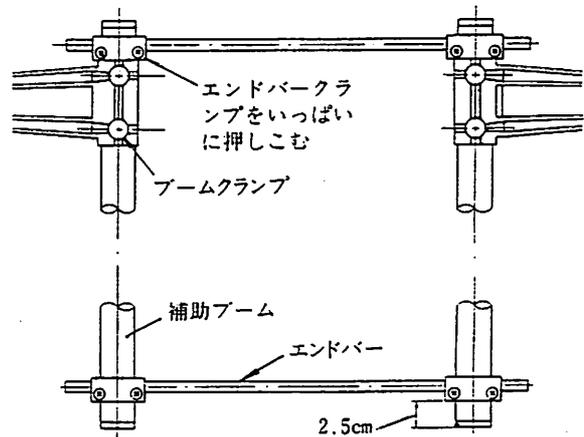
アンテナを後ろから見たときスタックパイプとブームクランプが一直線上にある様にし、エレメントは、その線上と直角（90度）になる様にして固定します。またブームも後ろから見てタレが極小になる様に各ブームクランプと補助ブームを良くなる方向へ力を入れて補正し、図Aの様に調整が終わった時点でネジをすべて増し締めし、ダブルナットのところはダブルナットを付けて固定します。



ブームクランプとアームクランプのM8×60のネジをゆるめてA図の様に修正します。  
ブームクランプのM5×30のネジをゆるめてA図の様に修正します。

★4★エンドバーの取付け

補助ブームの前端と後端に、図の様に黒色マークをエンドバークランプの端に合わせてふたをし、ナベビス(M5×16)で固定し、ホーローセットで補助ブームに固定します。

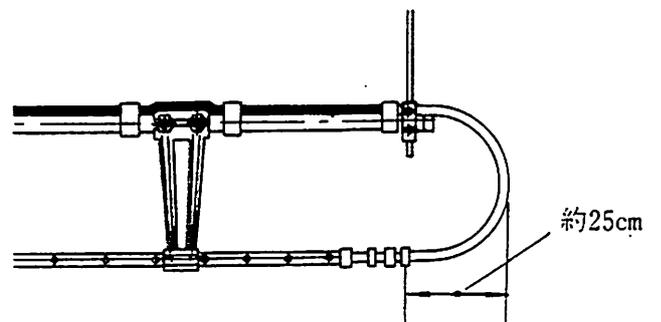


★5★ケーブルの沿わせ方

ケーブルはアンテナのコネクターから約25cm後ろへ突き出してから折り曲げて固定します。

またケーブルの固定には、バインダーを使用し、その上からビニールテープを巻きます。

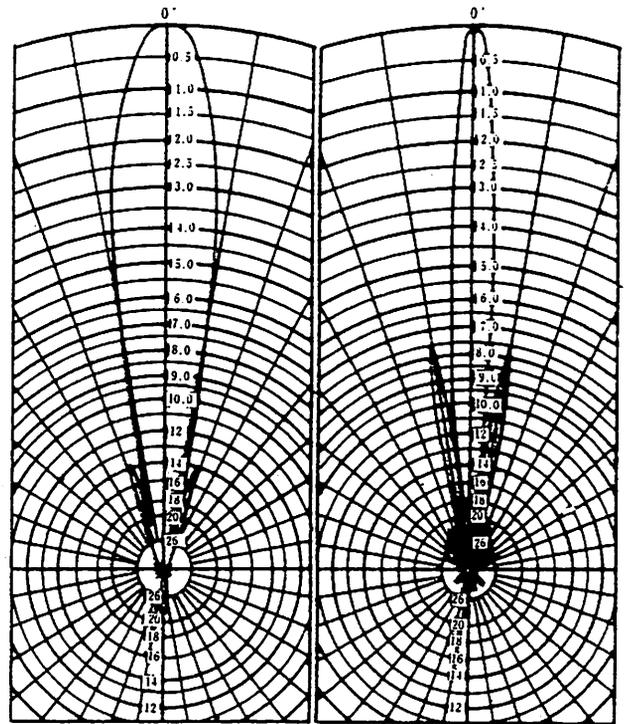
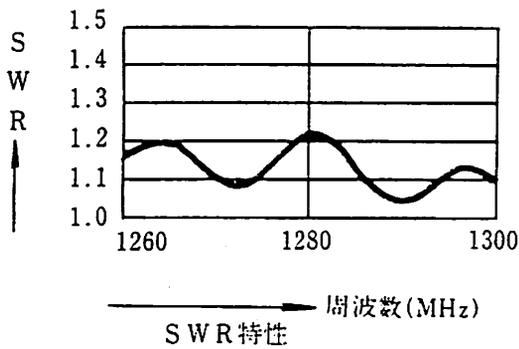
コネクターはすべて自己融着テープを巻き、その上からビニールテープを巻いて防水処理をします。



# 規格

周波数：1260~1300MHz  
 インピーダンス：50Ω  
 利得：26.2dBi  
 電力：100W  
 SWR：1.3以下  
 コネクター：N-J  
 ブーム長：4m  
 スタック間隔：1.03m  
 取付支柱径：48φ~62φ  
 重量：11.7kg  
 受風面積：0.34m<sup>2</sup> (最大方向正面より76度)  
 耐風速：瞬間最大 45m/sec  
 受風圧：30kg (但し v=45m/sec C=0.7)  
 回転半径：2.75m

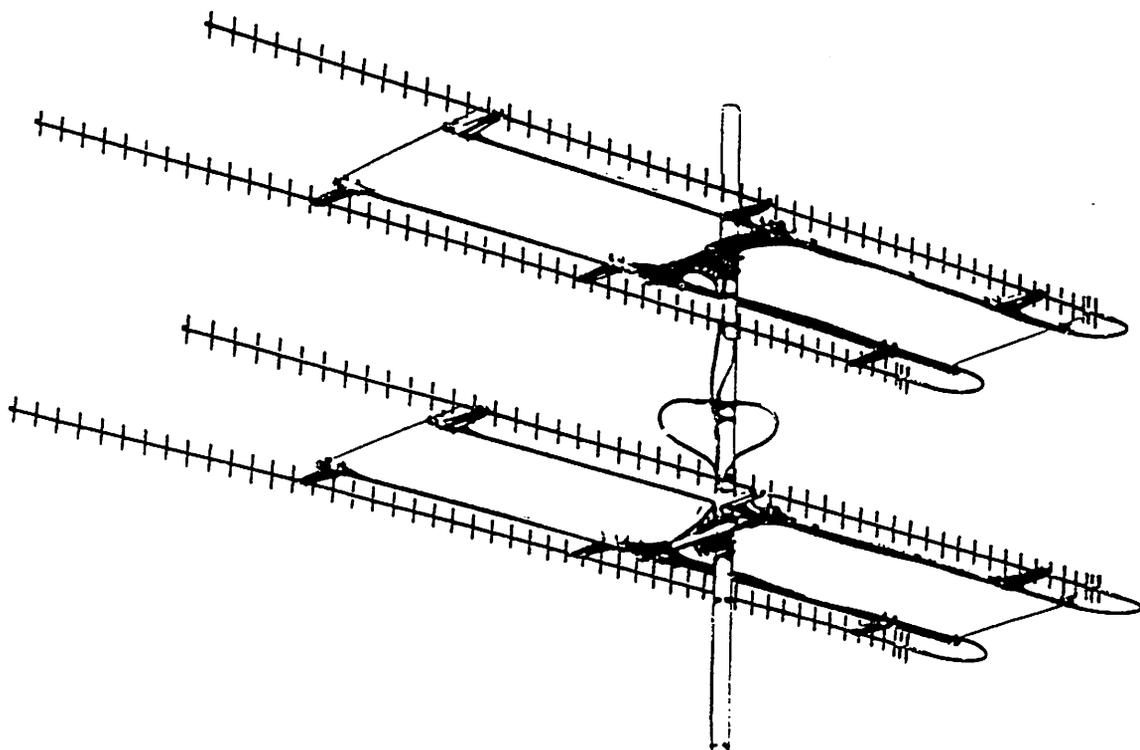
f = 1280MHz



水平偏波水平面指向性

垂直偏波水平面指向性

## 2列2段の場合



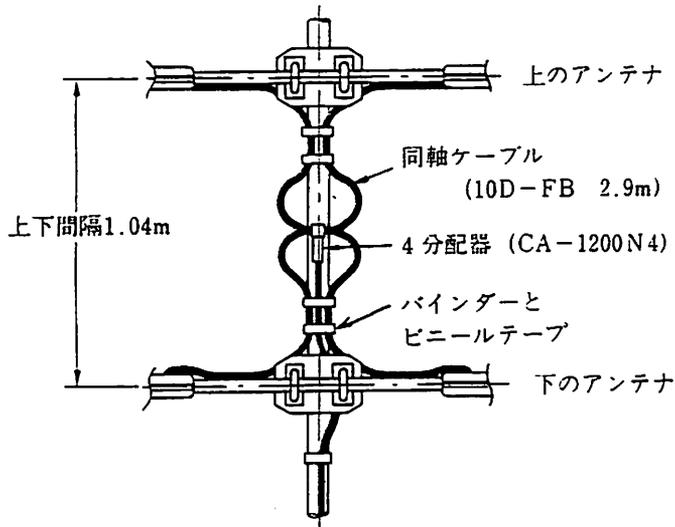
2列2段の場合はスタックアンテナ2本と、その中の、次のものが変更になります。

9-1 同軸ケーブル(10D-FB 2.24m) 4本 → 10-1 同軸ケーブル(10D-FB 2.90m) 4本

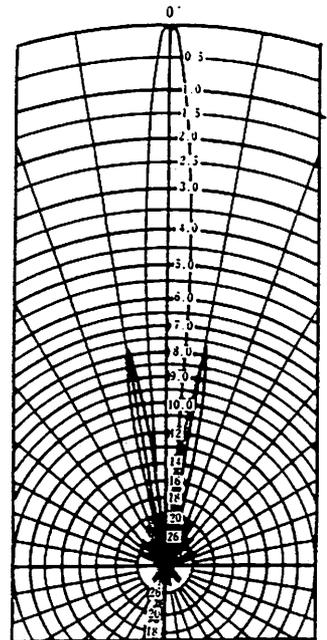
9-2 2分配器(CA-1200N2) 2個 → 10-2 4分配器(CA-1200N4) 1個

アンテナの組立は、スタックアンテナと同じです。

★ケーブルの処理★



(注)：放射器は上下とも赤マークが下になる様に取付けます。



垂直偏波水平面指向性

規格 (2列2段)

周波数：1260~1300MHz

インピーダンス：50Ω

利得：29.2dBi

電力：100W

SWR：1.3以下

コネクター：N-J

ブーム長：4m

スタック間隔：1.03m

上下間隔：1.04m

取付支柱径：48φ~62φ

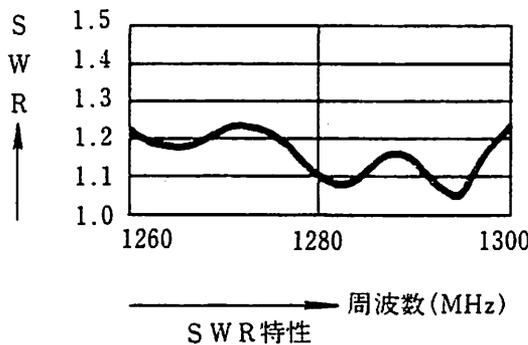
重量：24.1kg

受風面積：0.34m<sup>2</sup> × 2 (最大方向正面より76度)

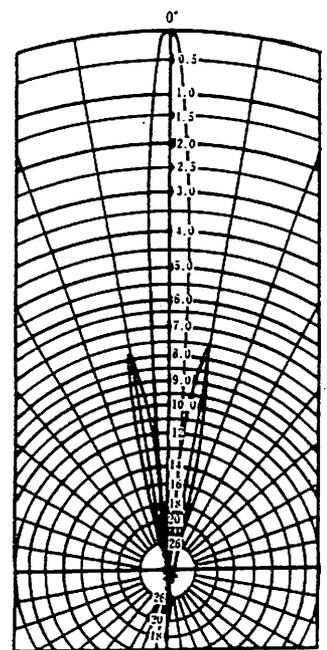
耐風速：瞬間最大 45m/sec

受風圧：30kg × 2 (但し v=45m/sec C=0.7)

回転半径：2.75m



SWR特性



水平偏波水平面指向性

埼玉県さいたま市南区辻4丁目18番2号

コメット株式会社

本社：〒335 埼玉県戸田市美女木1-2-30 ☎0484-21-7921(代) FAX. 0484-22-1038  
 大阪営業所：〒560 大阪府豊中市登池東町4-1-15 ☎06-844-0693 FAX. 06-853-2011  
 仙台営業所：〒982-01 仙台市若林区上飯田横堀87-1 ☎022-285-9506 FAX. 022-285-9507  
 福岡営業所：〒816 福岡市博多区井相田2-2-5 第三七福ビル ☎092-592-2531 FAX. 092-592-2532  
 札幌営業所：〒004 北海道札幌市白石区厚別南4-34-3 ☎011-892-7575 FAX. 011-892-7571

性能向上の為、予告なく外観、仕様を変更する事があります。